

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4270300512		
法人名	有限会社 清福祉事業		
事業所名	(有)清福祉事業 グループハウスおよりの郷 I		
所在地	長崎県島原市秩父が浦町丁3543番地13		
自己評価作成日	令和 5 年 7 月 28 日	評価結果市町村受理日	令和 5 年 10 月 3 日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/42/index.php
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 ローカルネット日本評価支援機構		
所在地	長崎県島原市南柏野町3118-1		
訪問調査日	令和 5 年 9 月 8 日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

私達のホームでは、理念にも書いてある通り「家庭」という言葉を大切に想い、利用者様がこれまでの生活で習慣になされていた事、考え、思いを大切に今までの生活に近づける様、居室の家具等に特に決まった規定はなく馴染み深いものを使用しています。また望みや、やりたいことなど尊重しお手伝いさせていただいております。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

普賢岳麓の高台の閑静な住宅街に位置している当ホームは、『のどか』明るい挨拶と笑顔の提供、『のんびり』望むこと、やりたいことのお手伝い、『ゆったり』確かな知識と技術で満足と安心を提供し続ける」を理念に掲げ、職員が理念に沿ったサービスの提供に努めている。「言葉づかいは心づかい」と壁面に掲示し、入居者への対応に留意しながら家庭的な環境づくりに取り組んでいる。ホームに看護師が在籍し、医療機関への受診支援や、緊急時及び看取り期の対応等、医療的ケアや連携により職員も心強く、また家族の安心感にも繋がっている。コロナ禍の中、家族との面会制限を行うことがあるが、玄関先での面会や、特に遠方にいる家族には電話で要望を聞いたり、入居者の暮らしぶりや身体状況を家族へ密に報告することで家族から信頼を得ていることが窺える。医療との連携・協力体制のもと、医療機関からの入居相談も多く、職員が日頃から入居者支援の意識を高く持っていることが窺え、今後も入居者本位の支援に期待が持てるホームと言える。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

自己	外部	項目	自己評価		外部評価	
			実践状況(ユニット名: 渚)	実践状況(ユニット名: 喜楽)	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営						
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	理念を基に本人の意向を尊重してケアを行っている。施設内(玄関、事務所、職員ロッカー)に掲示し、毎月のカンファレス時に参加職員で復唱し日々意識付けを行いながら利用者の方へ安心、満足して頂ける様取り組んでいる。	理念を基に本人の意向を尊重してケアを行っている。施設内(玄関、事務所、職員ロッカー)に掲示し、毎月のカンファレス時に参加職員で復唱し日々意識付けを行いながら利用者の方へ安心、満足して頂ける様取り組んでいる。	各ユニットの玄関等に理念を掲げ、職員は月1回の会議を通じて唱和している。職員への意識づけとして理念に込められた明るい挨拶と笑顔・望むこと、やりたいことへの支援・確かな知識で満足と安心を提供し続けることに努め、日頃から理念に沿ったサービスの提供に取り組んでいる。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	令和3年4月より自治会へ加入し市民清掃へ参加し地域住民の方と協力し交流の場を設けた。利用者の方については施設の花壇で作業中、近隣の方より花の苗をいただいたりしたがコロナ過で外出の頻度は減っている。	令和3年4月より自治会へ加入し市民清掃へ参加し地域住民の方と協力し交流の場を設けた。利用者の方については施設の花壇で作業中、近隣の方より花の苗をいただいたりしたがコロナ過で外出の頻度は減っている。	ホームは自治会へ加入し、地域の清掃へ参加するなど地域住民と交流している。コロナ禍で地域住民との交流が困難ではあったが、制限の緩和により、今後は運営推進会議メンバーである民生委員の協力を得る等、地域への専門性を活かした交流を図る活動を再開する予定である。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	コロナウィルス感染症の感染防止の為、面会の規制や外部の方との交流の場が減り実践できていない。	コロナウィルス感染症の感染防止の為、面会の規制や外部の方との交流の場が減り実践できていない。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議の開催についてはコロナウィルス感染症の感染状況により令和4年度は書面での説明であったが「意見、要望書」を添付し意見や要望を聞き取り職員へ周知出来た。	運営推進会議の開催についてはコロナウィルス感染症の感染状況により令和4年度は書面での説明であったが「意見、要望書」を添付し意見や要望を聞き取り職員へ周知出来た。	運営推進会議はコロナ禍により今年5月に開催した対面による会議以外は書面会議にて実施している。市福祉保健部保険健康課職員・地域民生委員・各ユニットより家族代表・入居者代表を構成メンバーとし、日々の活動・入居者状況・入居者の状態を詳細に資料として作成し、評価書とホームだよりと共に各メンバーへ配布している。	書面会議であっても対面による会議と同様、双方向性が求められるため、書面による報告内容に対し、各メンバーから質問や意見、要望を受けることができるよう工夫することが望ましい。更に報告内容にはヒヤリハット・事故報告内容を追加し、より運営の透明化を図れるよう取り組むことを期待したい。

自己	外部	項目	自己評価		外部評価	
			実践状況(ユニット名: 渚)	実践状況(ユニット名: 喜楽)	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	運営推進会議の資料や各提出物を持参時に実情等の意見の交換を行っている。	運営推進会議の資料や各提出物を持参時に実情等の意見の交換を行っている。	運営推進会議メンバーである市職員との情報交換や地域包括支援センターから空床状況・入居依頼のやりとり等を行っている。また、生活保護受給者の手続き等で市生活保護課の担当職員や、社会福祉協議会による日常生活自立支援事業で金銭管理、クラスター発生時には保健所からの指導を受ける等、関係機関と連携を密にし協力関係を築いている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束廃止委員会を設置し、3カ月に1回研修を行い、日々のケアの振り返りと実践に繋げている。当施設においては身体拘束は行われていない。	身体拘束廃止委員会を設置し、3カ月に1回研修を行い、日々のケアの振り返りと実践に繋げている。当施設においては身体拘束は行われていない。	ホームで身体拘束は行われていない。系列のグループホームと合同で身体拘束廃止委員会を開催し、研修資料を用いて身体拘束について職員へ周知している。ホーム内の目につく場所に『言葉遣いは心づかい』と明示し、日頃から職員の言葉かけや会話について注意を促している。	身体拘束に関して委員会開催後に資料を職員に配布しているが、職員によっては理解が弱いと感じられる部分があることを踏まえ、研修の習得状況(現在のケアの再確認等を含む)を確認するなど系列のグループホームとも協力し取り組むこと期待する。
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃されることがないように注意を払い、防止に努めている	資料を準備し、職員が知識、意識の共有が出来る様にしている。また定期的にカンファレンスを行い利用者一人一人のケアについて見直している。	資料を準備し、職員が知識、意識の共有が出来る様にしている。また定期的にカンファレンスを行い利用者一人一人のケアについて見直している。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性に関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	実際に利用者の方で利用されている方がいらっしゃるが全職員が制度を理解しているわけではない為、勉強の機会を設けたい。	実際に利用者の方で利用されている方がいらっしゃるが全職員が制度を理解しているわけではない為、勉強の機会を設けたい。		

自己	外部	項目	自己評価		外部評価	
			実践状況(ユニット名: 渚)	実践状況(ユニット名: 喜楽)	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時に重要事項説明等の説明を十分に行い、解約・改定の際も理解、納得されるよう十分説明を行っている。	契約時に重要事項説明等の説明を十分に行い、解約・改定の際も理解、納得されるよう十分説明を行っている。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	コロナウィルス感染症の感染防止の為、面会の規制中であるが特変時や受診の結果、必要物品については電話にて報告し状態の報告行っている。	コロナウィルス感染症の感染防止の為、面会の規制中であるが特変時や受診の結果、必要物品については電話にて報告し状態の報告行っている。	コロナ禍により、現在、玄関で面会を実施し、遠方に住む家族には入居者の日頃の様子を電話で報告している。管理者や主任は、家族との面会時や電話連絡時には入居者の様子を伝え、要望等を聞き取っている。職員は入居者との会話の中で支援に関して重要な内容を「伝達ノート」に残し、全職員と情報共有を図っている。職員の入退職については今後ホームだより等で家族へ報告する予定である。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職員の希望や業務に関する要望は主任、管理者へ随時要望できる体制であり必要に応じてミーティングにて話し合い職場環境の改善に繋げている。また施設長会議にて起案し代表者も含め話し合い出来ている。	職員の希望や業務に関する要望は主任、管理者へ随時要望できる体制であり必要に応じてミーティングにて話し合い職場環境の改善に繋げている。また施設長会議にて起案し代表者も含め話し合い出来ている。	職員はホームで入居者がより良い生活を継続できるよう支援に関する意見交換を毎月行っている。また、職員は主任や管理者へ日常的に意見を述べることができ、風通しの良い関係性を築くよう努め、職員の意見を実践に結び付けている。希望に応じたシフト調整や有給休暇の消化等、日頃から職員の意見を反映するよう取り組んでいる。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	代表者は定期的に職員とコミュニケーションを図り職員一人一人の状況を把握し、職場環境においても必要物品の要望に迅速に対応している。	代表者は定期的に職員とコミュニケーションを図り職員一人一人の状況を把握し、職場環境においても必要物品の要望に迅速に対応している。		

自己	外部	項目	自己評価		外部評価	
			実践状況(ユニット名: 渚)	実践状況(ユニット名: 喜楽)	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	コロナ過で法人内の研修は減少傾向にあるが資格所得や研修へ参加を推奨し実際に参加出来ている。	コロナ過で法人内の研修は減少傾向にあるが資格所得や研修へ参加を推奨し実際に参加出来ている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	島原半島GH連絡協議会に参加しているがコロナウイルス感染症の感染防止の為、研修や他施設の方との交流が困難な状況である。	島原半島GH連絡協議会に参加しているがコロナウイルス感染症の感染防止の為、研修や他施設の方との交流が困難な状況である。		
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援						
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	施設入所が初めての方も多く、関わりを多く持つ事で本人が困っていること・不安な事など聞き出せる様コミュニケーションを図っている。また日中・夜勤帯の職員間の情報共有にて、本人様に安心出来るサービスに繋げている。	施設入所が初めての方も多く、関わりを多く持つ事で本人が困っていること・不安な事など聞き出せる様コミュニケーションを図っている。また日中・夜勤帯の職員間の情報共有にて、本人様に安心出来るサービスに繋げている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	サービス内容や理念を伝えると共に、希望等も聞き取りが出来、定期的に話を伺う様にし、サービスに繋げている。	サービス内容や理念を伝えると共に、希望等も聞き取りが出来、定期的に話を伺う様にし、サービスに繋げている。		

自己	外部	項目	自己評価		外部評価	
			実践状況(ユニット名: 渚)	実践状況(ユニット名: 喜楽)	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	サービス内容や理念を伝えると共に、希望・思いの聞き取りがなされ、適切なサービスが受けられよう働きがなされている。	サービス内容や理念を伝えると共に、希望・思いの聞き取りがなされ、適切なサービスが受けられよう働きがなされている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	理念にもあげている、家庭的な雰囲気作りを心がけており、方言も用いたり、話しやすい環境作りを提供している。	理念にもあげている、家庭的な雰囲気作りを心がけており、方言も用いたり、話しやすい環境作りを提供している。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	本人様を支える存在として関係機関と連携をとり、ご家族の心的負担の軽減を図ると共に、ご家族の協力も重視したケアを心がけている。	本人様を支える存在として関係機関と連携をとり、ご家族の心的負担の軽減を図ると共に、ご家族の協力も重視したケアを心がけている。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	本人様が本人らしさを継続出来るよう、生活歴などを元に調度品の持ち込みなどの環境整備をはかり、ご家族様の協力を得ている。	本人様が本人らしさを継続出来るよう、生活歴などを元に調度品の持ち込みなどの環境整備をはかり、ご家族様の協力を得ている。	入居時に家族や入居前の関係者から生活歴を聞き取り、これまでの入居者の関係性を把握している。本人より希望があれば、墓参りや馴染みの場所へ行くなど支援している。現在、1名の入居者が以前からの理容室へ同行支援を行っている。希望に応じて馴染みの美容室を継続するなど馴染みの関係継続の支援に努めている。	

自己	外部	項目	自己評価		外部評価	
			実践状況(ユニット名: 渚)	実践状況(ユニット名: 喜楽)	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	日常生活の中での入居者同士の関係はおおむね把握出来ている。現在はほとんどの方がリビングにて過ごされる事が多く、関わりもよく見られている。レク等の際は一緒に取り組める様促し、楽しみや関わりに繋げるようにしている。	日常生活の中での入居者同士の関係はおおむね把握出来ている。現在はほとんどの方がリビングにて過ごされる事が多く、関わりもよく見られている。レク等の際は一緒に取り組める様促し、楽しみや関わりに繋げるようにしている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約終了後であっても、ご家族様から相談して頂ける・相談しやすいような関係作りが心がけられている。	契約終了後であっても、ご家族様から相談して頂ける・相談しやすいような関係作りが心がけられている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント						
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	入居者の生活歴を基に普段の会話、入居者様同士の会話の中から、思いや希望を汲み取れるような意識付けをし、職員間で共有し、ケアの統一に繋げている。	入居者の生活歴を基に普段の会話、入居者様同士の会話の中から、思いや希望を汲み取れるような意識付けをし、職員間で共有し、ケアの統一に繋げている。	職員は日頃の生活の中で入居者が発した言葉や表情を観察しながら意向の把握に努めている。本人の思いや希望は職員間で情報を共有し、必要に応じて介護計画に反映するなど、本人本位の生活が継続できるよう取り組んでいる。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	関係機関からの情報プラス、本人様、ご家族様からのお話を基に生活歴の把握に努めている。	関係機関からの情報プラス、本人様、ご家族様からのお話を基に生活歴の把握に努めている。		

自己	外部	項目	自己評価		外部評価	
			実践状況(ユニット名: 渚)	実践状況(ユニット名: 喜楽)	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	出勤者は申し送りノートを基に、本人様が『今』必要とされているケアが何であるかの検討・状態の把握の働きかけがなされている。	出勤者は申し送りノートを基に、本人様が『今』必要とされているケアが何であるかの検討・状態の把握の働きかけがなされている。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人様、ご家族様の意見を基に計画作成者、居室担当者が共同で評価と作成を行っている。ご家族様に対しても、それぞれの評価、説明、同意が行われている。	本人様、ご家族様の意見を基に計画作成者、居室担当者が共同で評価と作成を行っている。ご家族様に対しても、それぞれの評価、説明、同意が行われている。	職員は、介護計画を見直す際は家族へ意向を聞き取り介護計画へ反映している。日頃の生活の中で入居者本人が望む生活の意向を把握し、介護計画へ反映している。アセスメント・モニタリングの実施と計画作成担当者との会議を通じて介護計画原案を作成し、その後、全職員で内容を検討し、介護計画の内容を本人や家族へ説明し同意を得ている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	一目で入居者様の1週間の生活の様子が分かり、記入しやすい・見やすい書式が使用されている。職員の情報の共有がなされており、居室担当者、計画作成者はその記録を基に評価・計画を行っている。	一目で入居者様の1週間の生活の様子が分かり、記入しやすい・見やすい書式が使用されている。職員の情報の共有がなされており、居室担当者、計画作成者はその記録を基に評価・計画を行っている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	必要に応じ職員間でケースカンファレンスを行い、ご家族・医療機関との連携を図りながら必要かつ柔軟な支援を行っている。	必要に応じ職員間でケースカンファレンスを行い、ご家族・医療機関との連携を図りながら必要かつ柔軟な支援を行っている。		

自己	外部	項目	自己評価		外部評価	
			実践状況(ユニット名: 渚)	実践状況(ユニット名: 喜楽)	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	月に一度、職員間でケースカンファレンスを行い、ご家族・医療機関との連携を図りながら必要かつ柔軟な支援を行っている。	月に一度、職員間でケースカンファレンスを行い、ご家族・医療機関との連携を図りながら必要かつ柔軟な支援を行っている。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	なじみのある医療機関での受診支援を基に本人様の『今』を支える為の検討・医療機関の選択がなされている。	なじみのある医療機関での受診支援を基に本人様の『今』を支える為の検討・医療機関の選択がなされている。	入居時に入居者本人の以前からのかかりつけ医の情報を把握し、継続して受診できるよう支援している。医療機関への受診はホームの看護師を中心として同行支援し、受診時には実施記録・カルテ・前回受診内容記録を持参し、入居者の情報提供を円滑に行っている。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	必要に応じてその都度話し合いをし、日々のケアに繋がる様、受診の際も細かな報告行い、状態の変化に対応している。	必要に応じてその都度話し合いをし、日々のケアに繋がる様、受診の際も細かな報告行い、状態の変化に対応している。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	介護・看護サマリーでの情報提供や面会時の医療機関関係者との対話による情報交換がなされており、時間が許す限りではあるが面会にも行っている。	介護・看護サマリーでの情報提供や面会時の医療機関関係者との対話による情報交換がなされており、時間が許す限りではあるが面会にも行っている。		

自己	外部	項目	自己評価		外部評価	
			実践状況(ユニット名: 渚)	実践状況(ユニット名: 喜楽)	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所ですることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	「看取りについての指針」は定められており、入居者契約時にご家族様への説明はなされている。看取りの方はかかりつけ医と連携し状態に応じた対応が来ている。	「看取りについての指針」は定められており、入居者契約時にご家族様への説明はなされている。看取りの方はかかりつけ医と連携し状態に応じた対応が来ている。	入居時に看取りの指針を説明し、本人や家族へ看取り期の意向に関する同意を得ている。看取り期に至った場合はかかりつけ医が判断し、かかりつけ医、ホームの看護師、家族との話し合いのもと、家族の意向に沿った支援を行っている。昨年末及び今年6月には看取り支援を行ったことが窺える。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	月に一度のケースカンファレンスにて入居者の状態を把握、周知し急変時の対応がスムーズに行えるよう話し合いが来ている。	月に一度のケースカンファレンスにて入居者の状態を把握、周知し急変時の対応がスムーズに行えるよう話し合いが来ている。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を日常的に防火管理及び消火、避難訓練等を実施することにより、全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。また、火災等を未然に防ぐための対策をしている	火災通報装置の仕組みや取扱については避難訓練時に説明、訓練し周知している。災害時はおよりの郷Ⅱ、Ⅲと協力体制にあり避難誘導や受け入れ訓練を実施している。	火災通報装置の仕組みや取扱については避難訓練時に説明、訓練し周知している。災害時はおよりの郷Ⅱ、Ⅲと協力体制にあり避難誘導や受け入れ訓練を実施している。	年2回、昼間・夜間想定での避難訓練を実施している。避難した際の受入れ先である、系列ホーム「およりの郷Ⅱ・Ⅲ」と協力し、相互に避難先への誘導・受入れの訓練を実施している。コンセント類の点検を定期的に行い、日頃から火災を発生させないよう意識をもって災害対策に努めている。業務継続計画(BCP)を作成しており、今後、同計画に沿って訓練を実施する予定である。	
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援						
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	勉強会を通し入居者様と共同生活を送るものとして適切な対応を行っているが職員間でも気になる言葉かけの時は注意しあう等、心がけコミュニケーションが図れるよう対応している。	勉強会を通し入居者様と共同生活を送るものとして適切な対応を行っているが職員間でも気になる言葉かけの時は注意しあう等、心がけコミュニケーションが図れるよう対応している。	理念に掲げている「明るい挨拶と笑顔で接する」を実践するよう努めている。入居者に対する言葉かけで気になるような場合は、職員が互いに注意し合っている。今後、接遇マナー研修を年間計画に取り入れて実施する予定である。	

自己	外部	項目	自己評価		外部評価	
			実践状況(ユニット名: 渚)	実践状況(ユニット名: 喜楽)	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日中は出来るだけリビングにて過ごして頂くよう促し他入居者や職員とかわりを持つことで意向の確認、実現できるよう働きかけている。	日中は出来るだけリビングにて過ごして頂くよう促し他入居者や職員とかわりを持つことで意向の確認、実現できるよう働きかけている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	起床時間、食事、入浴、就寝時間などおおむねの時間は決まっているがその日の体調や状況に応じて対応出来ており入居者の意向を尊重している。	起床時間、食事、入浴、就寝時間などおおむねの時間は決まっているがその日の体調や状況に応じて対応出来ており入居者の意向を尊重している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	随時希望は受け付けており、美容院へも希望のある方は近所の美容院にお連れするなど対応出来ている。	随時希望は受け付けており、美容院へも希望のある方は近所の美容院にお連れするなど対応出来ている。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	コロナウィルス感染症の感染防止の為、外食支援は出来ていないが時期の旬のものなど、ホーム内で共に調理し食事出来ている。	コロナウィルス感染症の感染防止の為、外食支援は出来ていないが時期の旬のものなど、ホーム内で共に調理し食事出来ている。	食事は2名の調理担当者が1週間分の献立を作成し、材料の発注や購入を担当し地元の新鮮な食材を取り入れている。毎月15日は赤飯の日、1月はおせち料理や3月のひな祭りのちらし寿司などのほか、敬老会にはホーム内で素麺流しを行うなど、入居者が楽しく食事が摂れるよう取り組んでいる。	

自己	外部	項目	自己評価		外部評価	
			実践状況(ユニット名: 渚)	実践状況(ユニット名: 喜楽)	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養バランスに関しては一週間分の献立を調理担当者が考えており摂取量は一目で分かるように表へ記入し、管理されている。	栄養バランスに関しては一週間分の献立を調理担当者が考えており摂取量は一目で分かるように表へ記入し、管理されている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	口腔ケアは徹底しており、毎食後必要に応じてブラッシング介助し夕食後は義歯の預かり保管。週に一回洗浄実施している。また希望者は月に一回歯科往診にて口腔ケアなされている。	口腔ケアは徹底しており、毎食後必要に応じてブラッシング介助し夕食後は義歯の預かり保管。週に一回洗浄実施している。また希望者は月に一回歯科往診にて口腔ケアなされている。		
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	必要な方は排泄管理表を基にその人の排泄パターンに応じて極カトイレでの排泄が出来る様声掛け、誘導を行っている。	必要な方は排泄管理表を基にその人の排泄パターンに応じて極カトイレでの排泄が出来る様声掛け、誘導を行っている。	1週間毎の排泄チェック表を作成し、各入居者の排泄間隔の把握と個別の排泄支援に繋げている。同系列に福祉用具の事業所があり、おむつ等の使用軽減について相談したり、入居者の排泄状況に応じた形状やサイズのものを使用するなど家族の経済的負担に配慮している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	必要に応じて下剤の服用支援しているが、極力、水分や食べ物、運動にて便秘解消に繋げている。	必要に応じて下剤の服用支援しているが、極力、水分や食べ物、運動にて便秘解消に繋げている。		

自己	外部	項目	自己評価		外部評価	
			実践状況(ユニット名: 渚)	実践状況(ユニット名: 喜楽)	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	入浴は1日通して行っている。非入浴日が続かない様、声掛けするなど行い、また体調不良などある場合は更衣だけ促している。チェックシート活用し、毎日の把握行えている。	入浴は1日通して行っている。非入浴日が続かない様、声掛けするなど行い、また体調不良などある場合は更衣だけ促している。チェックシート活用し、毎日の把握行えている。	週2回以上を基本として、入浴支援を行っている。入浴の準備は毎日行っているため、入居者の習慣や希望に応じて毎日入浴することも可能である。重度化や寝たきりの入居者であっても職員2名介助により浴槽内に浸かり、ゆっくりと入浴ができるよう支援に努めている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	状態に合わせて、日中臥床して頂くなど軽減に繋げている。季節に応じて空調管理行い、休みやすい環境づくりをしている。	状態に合わせて、日中臥床して頂くなど軽減に繋げている。季節に応じて空調管理行い、休みやすい環境づくりをしている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	毎日のセットは夜勤者2名、次の日のリーダー確認行っている。変更ある場合は送りで周知し対応している。服薬時は声に出して日付・名前確認行い誤薬予防行っている。	毎日のセットは夜勤者2名、次の日のリーダー確認行っている。変更ある場合は送りで周知し対応している。服薬時は声に出して日付・名前確認行い誤薬予防行っている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	作業が得意な方には、洗濯物たたみ等取り組み促し行って頂いている。パズルや指を動かす作業も取り組みにいれて、覚醒にも繋がっている。	作業が得意な方には、洗濯物たたみ等取り組み促し行って頂いている。パズルや指を動かす作業も取り組みにいれて、覚醒にも繋がっている。		

自己	外部	項目	自己評価		外部評価	
			実践状況(ユニット名: 渚)	実践状況(ユニット名: 喜楽)	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	コロナウイルス感染症の為に、買い物は代行して行っている。また家族様の面会にて気分転換に繋げている。自宅までの短時間の外出など、希望に合わせて対応している。	コロナウイルス感染症の為に、買い物は代行して行っている。また家族様の面会にて気分転換に繋げている。自宅までの短時間の外出など、希望に合わせて対応している。	コロナ禍により、外出支援は困難であるが、病院受診後にドライブしたり、可能な範囲で外出する機会を設けるよう努めている。系列ホームの庭にある桜の木を見に弁当を作って行くなど、コロナ禍であっても入居者が気分転換を図りながら外出支援を行っている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	自身で管理されている方は少ないが、持っている事で安心される方もおられる為に、すべて預かることはしない。が紛失も考えられる為に、記載して持っている額の把握も行っている。	自身で管理されている方は少ないが、持っている事で安心される方もおられる為に、すべて預かることはしない。が紛失も考えられる為に、記載して持っている額の把握も行っている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	希望があられる時は、職員が見守りながら行って頂いている。耳が聞こえにくい方の時は代わりに話すなど会話の円滑化を図っている。	希望があられる時は、職員が見守りながら行って頂いている。耳が聞こえにくい方の時は代わりに話すなど会話の円滑化を図っている。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	その季節の花や、行事等で作成した壁画を飾ったりと季節を感じて頂ける演出を行っている。施設の花壇へ種から育て共に作業出来た。	その季節の花や、行事等で作成した壁画を飾ったりと季節を感じて頂ける演出を行っている。施設の花壇へ種から育て共に作業出来た。	ホームの花壇で入居者とともに季節の花を育てている。フロアに季節の花を飾ったり、季節に応じた装飾を壁面に掲示するなど、入居者が季節を感じることができるよう取り組んでいる。トイレ掃除、掃除機かけ、モップかけと週1回リネン交換時には職員3名で居室の清掃を行い、清潔保持に努めている。	

自己	外部	項目	自己評価		外部評価	
			実践状況(ユニット名: 渚)	実践状況(ユニット名: 喜楽)	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共有空間にはソファーを設置し利用されている方が多く日中はほとんどの方がリビングにて過ごされている。	共有空間にはソファーを設置し利用されている方が多く日中はほとんどの方がリビングにて過ごされている。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	馴染みの家具を使用頂き配置に関しても職員、家族、本人で決め居心地よく過ごせれる様工夫している。	馴染みの家具を使用頂き配置に関しても職員、家族、本人で決め居心地よく過ごせれる様工夫している。	入居時に持ち込み品について家族へ説明し、火気類や刃物類以外は入居者本人の馴染みのものや使い慣れたものを持参してもらい、家具類の配置は介護の動線にも配慮し、居心地よく安心して生活を継続できるよう支援に努めている。感染予防対策として、居室の要所はアルコールを使用して拭き掃除を行い、日頃から清潔保持に努めている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	各自の出来る能力に合わせて役割を持っておられるが、少しでも出来る可能性のあるときは、完璧でなくても取り組み促している。	各自の出来る能力に合わせて役割を持っておられるが、少しでも出来る可能性のあるときは、完璧でなくても取り組み促している。		